

令和3年度 三浦市総合計画審議会（第1分科会） 議事録

- 【日 時】** 令和3年7月28日（水）13：30～15：15
- 【場 所】** 三浦市役所第2分館第1会合室
- 【出席者】** 岡本一朗委員、笠小友和委員、草川晴夫委員、島由紀子委員、杉野幸雄委員、鈴木金太郎委員、出口眞琴委員、長島満理子委員
- 【関係職員】** 齊藤もてなし課長、小林経済部観光営業担当課長兼市長室特定事業推進担当課長、高橋土木課長、徳江特定事業担当部長兼市長室長、吉沢財産管理課長、安藤水産課長、下里農産課長、中村市長室特定事業計画担当課長、木村政策部長、鈴木政策課GL

【次 第】

（全体会）

1 開 会

2 議 題

- （1）会長、副会長の選出について
- （2）諮問について
- （3）分科会構成及び座長の選出について
- （4）会議録の公表手続きについて

（分科会）

- （5）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について
- （6）その他

3 閉 会

【議事録】

2 議 題

（5）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について

事務局（木村政策部長）

- これより議題5の外部評価に入る。
- まず、評価の説明を事務局から行う。
事務局より、外部評価について説明（説明略）

- それではまず、分科会を開催するにあたり、岡本座長より一言ごあいさつをお願いする。

岡本座長

- 令和2年度の総合計画の外部評価について、皆さまと一緒に活発な議論を進めていきたいと思うので、ご協力をお願いする。

事務局（木村政策部長）

- これ以降は、座長の進行でお願いします。

岡本座長

- それでは、議題5の外部評価を始める。
- 評価については、説明する担当課の関係上、施策No.1、2、3-3、3-1、3-2、13の順で進める。
- ではまず施策No.1について、説明をお願いします。

齊藤もてなし課長より施策No.1「農業、漁業、観光業の連携による観光振興」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

出口委員

- K P I の未達成の要因は、明らかに新型コロナウイルス感染拡大の影響と考えるが、どういう考え方で評価を行えばよいか。

事務局（木村政策部長）

- おっしゃる通り、新型コロナウイルス感染拡大の影響であることは間違いない。
- 今回の評価は4ページ目に内部評価を記載しているが、そういった要因はあるが、目標を達成しなかったのは事実であるため、内部評価としては、目標は達成しなかったとしている。

出口委員

- あくまでも数字で判断するということか。

事務局（木村政策部長）

- 目標に対しては、数字で判断していただきたい。もう一つ補足すると、令和3年度の目標は、3ページ目の下段に記載しているが、観光客数は、昨年の実績が約400万人であったところ、もう少し影響が残るだろうと判断し、約380万人の目標としている。この目標を踏まえて、令和3年度以降、こう取り組んでいくと、もてなし課長が説明した内容について、市の内部評価では、課題改善の取組が明確と判断し、「3」という評価をしている。

出口委員

- 令和3年度からは、コロナ禍の状況を加味している目標ということか。

事務局（木村政策部長）

- そのとおりである。

草川委員

- 観光協会として市から補助金をいただき、グルメチケットやバスツアーの事業を行い、ある程度は三浦市の消費回復、観光客の増加に寄与できたと思う。こういっ

たもてなし課が考えて実行している事業があるので、取り組んでいる内容も踏まえてトータル的に評価はできないのか。

事務局（木村政策部長）

- 評価については、そのような手法もあると思う。しかし、今の基準では、1つは、目標を数字で判断する、もう1つは、今後の課題改善に向けた取組の内容で判断することとしているため、その両面で評価してほしい。

島委員

- 内部評価「3」は妥当と考える。確かにコロナ禍において目標は未達成であったが、次年度の課題改善策が明確であると思う。
- 今後の改善策での意見だが、これまでと同じ観光施策では、難しいと思う。アフターコロナ、ウィズコロナに合った観光施策を展開して行ってほしい。
- 随時、当社とコラボさせてもらっているが、今後の改善策も一緒に取り組んでいきたいと思うのでよろしく願います。
- 意見であるが、当社もコロナ前に戻るのはいつかというのを意識して計画を立てて取り組んでいる。例えば、三浦市では令和元年に観光客 600 万人に達しており、今後、いつの時点でこの数値に回復するののかというのは、目標値として持って取り組んでほしい。この施策に限らず目標値の設定の検討をお願いする。

長島委員

- 景気も左右されている中で、入込観光客数と観光客消費額は重要と思うが、宿泊と日帰りで様々だと思うが、1人あたりの消費額はどのくらいか。1人平均どのくらい消費してもらうという目標値とかはあるのか。

齊藤もてなし課長

- 観光客消費額については、宿泊客にかかる費用と日帰り客にかかる費用と、それぞれを算出し、それを合計している。
- 観光客消費額は月によってばらつきがある。その月毎の平均単価を捉えて年間の消費額としている。例えば1月の宿泊は約 9,000 円で、年間平均は約 10,000 円程度である。

小林経済部観光営業担当課長兼市長室特定事業推進担当課長

- 入込観光客総数は、観光施設や観光地点で何人来たかをカウントした延べ数である。そのため、1人あたりの消費額は目標にしておらず、入込観光客数と観光客消費額の2つを目標としている。

長島委員

- 回遊性を高めて、人が動いて、各企業等の営業成績が上がるのが重要と考えるため、その視点をもって取り組んでほしい。

出口委員

- 今後のK P Iに関して、マリンパークの跡地、城ヶ島や二町谷の開発等の計画があ

と思うが、そういったものを加味しているのか。

事務局（木村政策部長）

- 目標を設定した時期が、昨年度の12月くらいであり、その計画を反映できるほどの数値は持ち合わせていなかったなので、加味はしていない。

出口委員

- 今後、計画が具体化されてくれば、増加の要因となるのか。

事務局（木村政策部長）

- そうである。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

岡本座長

- 次に施策No.2について、説明をお願いする。

徳江特定事業担当部長兼市長室長より施策No.2「経営支援・企業誘致」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

笠小委員

- 令和2年度に商工会議所で実施したセミナーで講師をした。初めて講師をしたが、自分自身のためにもなった。今後も様々な方に講師をやらしてもらえれば、講師も参加者もプラスになると思うので是非継続して行ってほしい。

島委員

- 5ページの事業費であるが、令和3年度事業費が大幅に増額されているため、8ページの今後の改善策手法に、その内容の記載があると良いと思うが具体的にはどのような事業を予定しているのか。

徳江特定事業担当部長兼市長室長

- 旧三崎中学校跡地等城山地区事業用地について事業者募集を行い、提案を受け付けることとなっているが、この土地については公図と現況に乖離があるため、それを修正するために国庫補助事業を活用して測量を行うものである。

出口委員

- 持続可能な企業誘致プロモーション事業であるが、水産関連事業用地に関しては、2者と協議しているとのことだが、その2者との協議がまとまれば、全て完了ということの良いか。

徳江特定事業担当部長兼市長室長

- 1者については、8月上旬に契約ができるよう事務を進めている。もう1者についても、契約書の詰め段階である。
- ご指摘のとおり、この2者との協議がまとまれば、すべての水産関連事業用地の活用が図られることとなる。

出口委員

- 多目的活用事業用地については、これから10年かけて整備していくとの事だが、順調に進んでいるのか。

徳江特定事業担当部長兼市長室長

- 今、一番注力しているのは浮棧橋であり、現地でも浚渫等を行い、これから杭打ちの工事を行う予定である。
- 順調に行けば10月頃に供用開始が出来る予定である。その供用開始に伴い、まずは二町谷地区のブランディングとして知名度を高めるためのイベントを、浮棧橋等を活用しながら行う予定である。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は一部達成しており、課題改善の取組が明確であるため、「4」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

岡本座長

- 次に施策No.3-3について、説明をお願いします。

齊藤もてなし課長より施策No.3-3「水産業・農業・商工サービス業の振興（商工サービス業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

出口委員

- 商工会議所の会員について、高齢化での廃業と記載があるが、動向はいかがか。

鈴木委員

- 高齢化で廃業することも多く、会員は減少傾向にある。

出口委員

- 増加しているのは、若い人か。

鈴木委員

- 三浦市に新たに移住して開業するというケースも多少あるが、既存の事業者は、減少傾向にある。
- コロナ禍で一番影響があるのは、中小企業、零細企業である。観光や飲食に携わっている企業は、皆経営が悪化している。

杉野委員

- 市の経済対策として農家に対して10万円の給付があったが、普通であれば全員対象となるのだが、市税滞納者等がおり、給付できなかった農家がいる。つまり、これまで農家の経済が回っていないという事が言える。給付金をもらわなくても経営できるよう農家自身も自立しないといけない。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

岡本座長

- 次に施策No.3-1について、説明をお願いします。

安藤水産課長より施策No.3-1「水産業・農業・商工サービス業の振興（水産業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

杉野委員

- 16 ページの今後の改題改善策に輸出実績のない事業を対象にとあるが、反対に輸出実績のある事業者はどのくらいか。

安藤水産課長

- 会社で継続的に行っているのは、5者くらいである。そのうち力を入れているのは2、3者である。

杉野委員

- 品目はマグロか。

安藤水産課長

- 冷凍マグロがメインであるが、飲食店の寿司屋や和食店を対象に輸出を行っている会社は、マダイやハマチもセットで輸出を行っている。

杉野委員

- 三浦市農協でもカボチャやダイコンの輸出をやっているが、検疫で引っかかることが多少ある。マグロは生鮮食品という点で野菜より厳しいと思うが、検疫がネックとなっているか。

安藤水産課長

- 各国ごとに基準は様々だが、各会社が独自で対応しており、検疫がネックという話は聞いていない。

草川委員

- 冷凍品関係で、メバチの不漁は仕方がないと思うが、外国人船員の確保難というのは新型コロナウイルス感染拡大の影響か。

安藤水産課長

- そのとおりである。マグロ延縄漁船の従事者はほぼインドネシア人であり、令和2年度は、入出国禁止の関係で一度帰国してしまうと再度呼べなくなってしまった。しかし外務省が取り扱いを見直し、日本に来てもすぐ国外へ出てしまうので、トランジット扱いにすることとなったが、その再開までに1～2か月かかったため確保難となった。

鈴木委員

- コロナ禍で船が出られなくなり、魚が無くなり値段が上がった。

出口委員

- それは三浦だけでなく焼津等、全国的にそうなのか。

鈴木委員

- 魚の相場は日本全国同じなので、全国的にそうである。

出口委員

- 高度衛生管理で、冷凍マグロの品質はだいぶ上がったと思うがどうか。

鈴木委員

- 品質は上がったが、マグロも昔から変わってきており、メバチだけでなく、養殖の本マグロもあるし、畜養の本マグロもあるし、天然の本マグロもある。

長島委員

- 三崎漁港に魚を集めるという課題に対する取組はどうか。

安藤水産課長

- かつお一本釣漁船の誘致を継続して行っていきたい。またキンメダイのブランド

化に注力していきたい。

岡本座長

- 三崎漁港のグランドデザインがスタートするので、その計画に併せて、三崎のマグロが活性化するよう、協議を重ね具体的に進めていただきたい。
- 13 ページの事業費であるが、令和 3 年度の事業費が減少しているが、要因は何か。

安藤水産課長

- 令和 3 年度は、整備工事がなく事業費は減少しているが、今後、令和 4 年度、令和 5 年度にかけて超低温冷蔵庫の設計を行う予定である。設計が始まると事業費が増加し、さらに工事が始まると事業費が増加する予定である。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

岡本座長

- 次に施策No.3-2について、説明をお願いします。

**下里農産課長より施策No.3-2「水産業・農業・商工サービス業の振興（農業関係）」
について資料に基づき説明（説明略）**

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

出口委員

- K P I の分析であるが、平成 30 年度から始めた通信販売収入が飛躍的に伸びたとあるが、要因はなにか。

下里農産課長

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、産地に来られなくなった方が、三浦市農業協同組合のホームページでの通信販売を利用し、産地の新鮮な野菜を直接購入したためと考えている。

出口委員

- 今も継続して通信販売は行っているのか。

下里農産課長

- 行っている。

出口委員

- 令和3年度の状況はどうか。

下里農産課長

- 令和3年度の実績値は未だ出ていないが、現在、夏野菜セットの販売を実施しており、令和3年度も実績は良さそうである。

出口委員

- 以前台湾への輸出に取り組んでいたと思うが、輸出戦略は現在どの様に取り組んでいるか。

下里農産課長

- 検疫の問題について先ほど議論があったが、生鮮食品である野菜をコンテナで輸出する際、コンテナの温度管理が非常に難しい。温度管理には高額な費用がかかるため、そこが課題である。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた後の三浦野菜の販路の展開として、輸出は一つのツールと捉えているため、輸出の手法をよく研究したうえで、三浦市農業協同組合と協力しながら取り組んでいきたい。

出口委員

- 台湾では、日本の野菜はすごく評判が良かったと聞いているため、輸出の手法を検討し取組を進めてほしい。

草川委員

- 食品開発関係であるが、地場産品を活用した商品を、市外へのPR活動として観光協会でも何か考えなければと思っている。春キャベツを使用したハンバーグを開発したとあるが、その後は何か商品開発の予定はあるか。

下里農産課長

- 春キャベツを使用したハンバーグについては、来シーズンに向けた打ち合わせを食品会社と2回している。今後は秋に向けて、ソースの味の改善に取り組む予定である。
- もうひとつ、厚木にある調味料の会社から、三浦野菜を取り入れたマヨネーズの開発の話を頂いており、現在試作品を作ってもらおうよう依頼している。
- 令和2年度、食品開発に取り組んだことにより、新しく他の食品会社が興味をもってくれたことは成果だと思っている。
- 野菜に限らず水産加工品も含め、新しい三浦のブランド品の開発、PRについて、観光協会と連携して取り組んでいきたい。

草川委員

- 観光協会で、廃棄野菜を使い、和紙を作る取組を進めている。具体的には、段ボールひと箱のスイカのつるを業者に渡し、試作品がそろそろ出来る段階である。

杉野委員

- つるが枯れた状態で業者に渡しているのか。青々している状態で渡しているのか。

草川委員

- 青々した状態で渡している。

杉野委員

- 三浦市農業協同組合も、ダイコンの葉でふりかけを作ってもらっているが、廃棄の野菜より、正規品を高く買ってもらうことが理想である。

下里農産課長

- 春キャベツを使用したハンバーグであるが、令和4年度から給食の食材として利用できないか検討している。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

岡本座長

- 次に施策No.13について、説明をお願いします。

中村市長室特定事業計画担当課長より施策No.13「中心核交流機能の育成」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

出口委員

- 市民交流拠点整備事業は、城山地区の利活用と連動すると思うが、城山地区の進捗状況はどうか。

徳江特定事業担当部長兼市長室長

- 城山地区については、現在、事業者募集を行い、2件の応募があった。今後の流れとしては、8月に事業者からの提案を受け付け、選定を行い、9月に事業者と基本協定を締結するよう事務を進めている。
- 募集の具体的内容に市役所移転に関する内容がある。選定する事業者が現市役所の土地を使える時期は、募集要項の中で、令和8年4月以降としている。基本的には、この時期に合わせて、市役所を三崎高校跡地に移転する考えである。
- 一方で、三崎高校跡地であるが、現在、造成工事を行っている。
- また、市民交流拠点の整備については、市の財源負担を軽減するため、公共施設と

併せて民間施設等を導入する考えである。そのため今年度、国交省の補助メニューを活用して、こういった民間施設が導入できるかの可能性調査を行う予定で事務を進めている。

- 今年度に、一程度の可能性を見出しながら、翌年度以降に活用に向けて事業者募集等を行っていく予定である。

笠小委員

- 実際、こういった施設が建設されるか決まっているか。

徳江特定事業担当部長兼市長室長

- 公共施設の部分は、市役所、図書館、総合福祉センター的な機能を持った施設を想定している。
- 民間施設の部分は、市場の声を伺い、様々な可能性を模索しながら、最適な組み合わせを検討していきたい。
- 全体としては、市民交流拠点整備事業であるため、市民交流拠点として相応しい施設の建設を予定している。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標はすべて未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

岡本座長

- 次に、議題5の外部評価のうち、地方創生に係る交付金事業の評価について、事務局より説明をお願いします。

鈴木政策課GLより、資料11について説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

島委員

- KPI②のオンライン配信が実績に入ることが、非常に斬新な印象を受ける。これがコロナ禍での新しいあり方なのか。

鈴木政策課GL

- このKPIは神奈川県が設定しているもので、オンライン配信をカウントすることについても県判断で行っている。

島委員

- 確かに、動画の中身が面白くて、多くの方に見てもらえるのであれば、オンライン配信もイベントと捉えて、各自好きな時に見て、好きな時に三浦にきてくださいというの、一つの手法と思う。
- K P I ①の観光客消費額は、三浦半島の中で、三浦市が1番ダントツに多かったと思う。コロナ禍ではあるが、三浦市が、三浦半島を引っ張っていくようなイベントや魅力付けを進めてほしい。

長島委員

- ウィズコロナでオンラインは当たり前になってきたが、オンライン配信数がイベント参加者数に含まれることは、違和感が残る。見てもらいたい人に見てもらえているという検証は必要だと感じる。

岡本座長

- 他に質問はあるか。特段なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- 一部のK P I が目標値に達しなかったが、概ね成果が得られたとしており、地方創生に効果があったため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

(6) その他

岡本座長

- 次に、その他について、事務局より何かあるか。

事務局（鈴木政策課GL）

- 本日の議事録については、概ね1週間程度で作成をし、座長確認のうえ、委員の皆様へ報告する予定で進める。その他は以上である。

3 閉会

岡本座長

- 以上で本日の議題は全て終了した。ここで、事務局に進行を戻す。

事務局（木村政策部長）

- 本日は、出席いただき感謝申し上げます。
- また、貴重な意見をいただき感謝申し上げます。皆さんの貴重な意見を生かし、より良い事業へ見直していきたいと思う。
- なお次回の総合計画審議会は、来年の同時期、7月下旬から8月上旬を予定している。

- 本日は長時間にわたり、ご審議いただき改めて感謝申し上げます。
- 以上をもって、令和3年度三浦市総合計画審議会第を終了する。